

# 下田小だより

令和元年 7月 12日号 No10  
久留米市立下田小学校  
校長 檜橋 関子

☆☆☆ 学校教育目標「よく学び、なかよく、やりぬく子どもの育成」 スローガン「チャレンジ！」☆☆☆

7月3日(水)の豪雨予報では、昨年度の教訓をふまえ、下田校区の集団下校と校区外のお迎えをお願いしました。急な要請にもかかわらず、保護者の皆様に協力していただき、安全に下校することができました。ありがとうございます。今後もいつ災害が起きるかわかりません。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ～5年生田植え体験をしました～



プール横に作られた田んぼの代掻き・水入れを日曜参観後に PTA 会長様を始め、役員の皆さんで行っていただきました。田植えの準備が整ったところで、6月26日(水)に5年生が田植えを行いました。こんな場所にどうやって田んぼができるのだろうかと思っていたのですが、農業をされている方々の手際よさとアイデアに感服しました。PTA 役員・5年生保護者の皆様に手伝ってもらいながら田植えが終わり、ぐんぐん稲が育っています。昔は遠くに田植えに行っており、大変さから稲作りを断念した時期があったと聞きます。しかし、下田校区の子どもたちから農業体験を奪わないように学校敷地内に田んぼを作り、稲作りが復活できたと聞き、地域の素晴らしさを感じました。校区内に広がる田園風景を見て育っている子どもたちです。稲作りを通してこれからたくさんのことを学んでほしいと思います。

## ～水泳記録会でしっかり泳ぎ、着衣水泳で命を守る背浮きを学びました～



【宝探しを楽しむ低学年】

【力強い泳ぎの下田小リレー】

【着衣水泳では背浮きを学びます・みんなできるように練習】

7月5日(金)これまでのプールでの学習の成果を全校で確かめ合う水泳記録会が行われました。25Mや50Mに挑戦したり、自分の記録に挑戦したりとそれぞれに学習の成果を出していました。水泳記録会では自分で出場する種目を決めて泳ぎました。当日一番いい記録を出せた人もたくさんいたようです。たくさんの応援ありがとうございました。

また11日(木)には着衣水泳を行い、川に落ちるなど万が一の時にも自分の命を守るため、どのようなことに気をつけるのか Web スポーツクラブの松浦先生から指導を受けました。パニックにならないこと、ゆっくりだるま浮きをした後、背浮きをすることで助けが来るまでの時間、命を守ることを教えていただいています。どんなときにも落ち着いて行動することが、命を守ることにつながるのではないかと思います。日常的に落ち着いた行動を取れる下田っ子をめざしたいと思います。

## ～学期末です。子どもたちも先生方もがんばっています！～



1学期も残すところ1週間となりました。学期末ということで、学習の仕上げやテストをどの学級も頑張っています。最近の職員室での会話です。満面の笑みで先生方が話してあります。「〇〇さんが、再テストで100点だったんですよ。」「このノート見てください。こんなに自分の考えをまとめることができるようになりました。」先生方にとって、子どもたちの学習の伸びを実感することはとても嬉しいことです。聞いた先生も「〇〇さんすごいねえ。頑張ってますね。」と子どもたちの頑張りを喜び、廊下で会った時などに「すごく頑張って漢字練習したってね。」など褒めてあります。全校児童の様子を全職員が知っているという下田小ならではの光景だなと感じています。一人ひとりの子どもたちの得意なこと、苦手なことを共有しているからこそ、その子が力をぐんと発揮した時一緒に喜び合えると思います。教える先生方も必死です。それに答えて頑張る子どもたちも立派だなと思います。無限大の力を持っている子どもたちです。学習にしっかり向き合い、精一杯学ぶことで力はぐんぐん伸びていきます。休み時間もテストのやり直しや復習に頑張っている先生や子どもたちです。面倒だと思ふこともあるかもしれませんが、今やるべきことは今やっていくという姿勢を崩さず、これからも頑張りたいと思います。